

UNIVERSITY OF MICHIGAN LIBRARY

CA  
00  
93  
BHK  
RARY



⑦

平成6年度

(第5回)

新生児・乳児マススクリーニング  
検査技術集団研修コース

実施要領

平成6年12月

JICA LIBRARY



J 1127196 [2]

国際協力事業団

北海道支部

## は じ め に

国際協力事業団（略称JICA）は開発途上地域の経済・社会の発展に寄与し、国際協力の促進を図るため、政府ベースの技術協力を一元的に行っている特殊法人です。

主な業務は研修員の受け入れ・専門家派遣・機材供与・開発調査団の派遣・プロジェクト方式の技術協力・青年海外協力隊の派遣・無償資金協力の促進等です。

これらの事業のうち、開発途上国において自国発展の柱となる人材を本邦に受け入れる研修員受け入れ事業は技術協力の大きな柱の一つです。

またその本邦における研修は集団研修コースと個別研修コースとに分かれ、年間約 6,910人（平成6年度見込み）が研修を受けています。

本冊子で紹介する新生児・乳児マスキング検査技術コースは 304コースある集団研修コースの中の一つであり、札幌市及び勤札幌国際プラザのご協力により平成2年度に開設され今回で第5回目の実施となります。

平成6年12月1日

国際協力事業団北海道支部長

# 目 次

1. コース名, 期間等 .....	1
2. コースの背景 .....	1
3. コースの目的 .....	1
4. 到達目標 .....	2
5. 研修項目, 研修方法 .....	2
6. 研修参加資格要件等 .....	3
7. 研修実施体制及び運営 .....	4
8. 研修, 宿泊施設 .....	5
9. 研修教材 .....	5
10. 研修付帯プログラム .....	6
11. 研修の評価 .....	6
12. 日本語講習 .....	6
13. 平成6年度(第5回)応募, 選考結果 .....	7
参考資料	
付表-1 平成6年度新生児・乳児マススクリーニング検査技術コース研修員名簿 .....	8
付表-2 平成6年度新生児・乳児マススクリーニング検査技術コース日程(案) .....	9
付表-3 主要関係講師一覧表 .....	11
付表-4 年度別受入実績表 .....	12

## 1. コース名, 期間等

### (1) コース名

和文：新生児・乳児マススクリーニング検査技術コース

英文：Technology for Neonatal and Infantile Screening

### (2) 受入期間

平成7年1月5日(木)～平成7年3月27日(月)

### (3) 研修期間

平成7年1月12日(木)～平成7年3月25日(土)

### (4) 定員及び割当国

定員：8名

割当国：10カ国（マレーシア，シンガポール，フィリピン，タイ，アルゼンティン，  
ブラジル，パナマ，ガーナ，セネガル，イラン）

### (5) 研修機関

札幌市衛生研究所



## 2. コース開設の背景

増大する人口と、深刻な経済状況を抱える開発途上国にとって、医療環境の整備及び改善を図っていくことは、先進国の協力無しには困難であり、豊かな経済力と高い医療レベルにあるわが国への期待は大きいものがあります。

多岐にわたる疾病の中でも、先天性代謝異常症やクレチン症及び小児ガン神経芽細胞腫は、いずれも発見が遅れると新生児、乳児のその後の一生に重大な障害を及ぼすものですが、早期発見・治療により治癒が可能であり、そのためのマススクリーニングの意義には大きなものがあります。

## 3. コースの目的

途上国の保健医療に関与する人材に対し、新生児・乳児マススクリーニング検査について、基礎知識と実用的技術の移転を行うとともに、その重要性和意義の認識を深めることにより、スクリーニング検査のための指導的技術者養成を図り、開発途上国における本スクリーニングの普及を促進することを目的としています。

#### 4. 到達目標

- (1) 新生児・乳児マススクリーニング検査の基礎知識と技術の修得
- (2) マススクリーニングの重要性と意義の理解
- (3) 自国におけるマススクリーニングの普及

#### 5. 研修項目, 研修方法

##### (1) 研修項目

###### ○ 講義

- ・新生児・乳児マススクリーニング概論
- ・わが国の周産期医療, 母子保健対策
- ・先天性代謝異常症
- ・先天性甲状腺機能低下症
- ・先天性副腎過形成症
- ・神経芽細胞腫
- ・酵素免疫測定法
- ・DNA診断

###### ○ 実習

- ・先天性代謝異常症スクリーニング法
- ・先天性甲状腺機能低下症スクリーニング法
- ・先天性副腎過形成症スクリーニング法
- ・神経芽細胞腫スクリーニング法
- ・酵素免疫測定法の基礎と実際
- ・遺伝子診断のための基礎実験

##### (2) 研修方法

本研修コースは、講義、実習、及び視察・見学により構成されています。

各スクリーニング項目別に講義と検査法の実習を行います。

また、関係医療機関や医療機器メーカーの視察・見学も行います。

#### ア. 使用言語

原則として英語を使用します。

#### イ. 講義及び実習

講義及び実習は、午前・午後とも3時間程度とし、札幌市衛生研究所を主たる実施場所として、施設内の各種機材を活用しながら研修を行います。

#### ウ. 研修視察旅行、見学

講義、実習を通じて習得した諸理論及び技術の理解と我が国における技術の普及過程、現状把握、さらには人々とのふれあいを通じて日本についての理解を深めていくために道内外の研修視察旅行と市内施設の見学を行います。

主な視察・見学先：大阪市環境保健協会，神奈川医科大学，大阪市立大学小児科，大阪市総合医療センター，京都府立医科大学小児科，島津製作所，東京都予防医学協会，日本大学医学部駿河台病院小児科，札幌市中央保健所，北海道立総合小児保健センター，市立札幌病院

### 6. 研修参加資格要件等

#### (1) 選考方法

割当国政府からの要請書類に基づき、General Information（応募要領，以下G. I. と略称）に記載されている応募者の資格要件の具備程度，地域性，要請度合等を総合的に検討し，受入可否を決定します。

#### (2) G. I. 記載の応募資格要件

- ① 割当国政府が推薦した者
- ② 医師又は医学博士号を有し，自国において新生児・乳児マスキングを組織化する計画があること
- ③ 大学卒業者又は同等の資格を有する者
- ④ 英会話能力，記述能力を十分に備えた者。過去英語能力が不十分で，研修の目的を果たせなかった研修員がいたため
- ⑤ 原則として25歳以上40歳以下の者
- ⑥ 心身共に健康で，女性については妊娠していない者



### (3) カントリーレポート

各研修員に、カントリーレポートを提出してもらい、自国の新生児・乳児マスキングの概況及び問題点等を報告してもらいます。

## 7. 研修実施体制及び運営

### (1) コース運営の仕組み

本研修コースは、国際協力事業団北海道支部、札幌市（札幌市衛生研究所）、財団法人札幌国際プラザの協力・協議のうえ実施、運営するものとし、その具体的事務分担は次のとおりとします。

#### －札幌市（衛生研究所）－

- ア. 技術研修日程の計画，作成
- イ. 講師の選任，手配
- ウ. 演習・実験，実習，視察見学の計画，手配
- エ. 教材，テキスト，資機材の手配
- オ. 研修の指導
- カ. その他

#### －国際協力事業団北海道支部－

- ア. 研修実施要領及び研修員名簿の作成
- イ. 研修実施予算の執行，管理
- ウ. 研修監理員の配置
- エ. 研修員宿舎の手配，管理
- オ. 研修員の日常生活の指導
- カ. 研修員諸手当の支給
- キ. 研修実施報告書の作成
- ク. 開閉講式，評価会，反省会の開催
- ケ. その他

各の内訳その他一

東京地区における研修滞在期間については、国際協力事業団研修事業部が運営管理します。

## (2) 研修監理員の配置

技術研修期間中、(財)日本国際協力センター所属の研修監理員を配置するとともに必要に応じ、北海道支部配属の研修監理員を派遣し、業務調整及び通訳業務にあたり、コース実施、運営の円滑化を図るものとします。

## 8. 研修・宿泊施設

### (1) 研修実施機関

国際協力事業団北海道支部

所在地：〒060 札幌市北区北7条西5丁目札幌北スカイビル7F

TEL. 011-756-6333 FAX. 011-756-7267

### (2) 研修受入機関

札幌市衛生研究所

所在地：〒003 札幌市白石区菊水9条1丁目

TEL. 011-841-7672 FAX. 011-841-7073

札幌市衛生研究所は、市民の健康を守り、その増進を図ることを目的として1962年に設置され、臨床、微生物、環境、食品、大気、水質に関する検査、調査研究が行われています。とりわけ新生児・乳児マスキングの分野では日本でも有数の研究所として評価されています。

### (3) 宿泊施設

ホテルサッポロメッツ

所在地：〒001 札幌市北区北17条西5丁目20番地

TEL. 011-726-5511 FAX. 011-716-1082

## 9. 研修教材

### (1) 研修用のテキスト

本研修コース独自の英文によるテキストを作成し、配布します。

### (2) 研修用機材

実習用試薬、各種器具及びデータ分析用コンピュータを用意するほか、衛生研究所内の各種機材を活用し、研修を行います。

## 10. 研修付帯プログラム

### (1) 集合ブリーフィング

研修員来日直後に、国際協力事業団が東京国際研修センターにて実施するブリーフィングにおいては、国際協力事業団の業務概要説明、研修員登録、研修員のパスポート、ビザの有効期間確認、支給される諸手当の説明の他、日常生活を送る上での諸注意を行います。

### (2) オリエンテーション

国際協力事業団が、平成7年1月7日から1月10日まで、東京国際研修センターにて実施します。

日	程	内 容
1/9 (月)	9:45 ~ 10:00	「オリエンテーション」の説明
	10:00 ~ 12:00	講義「日本の社会と日本人」
	13:30 ~ 15:00	講義「日本の歴史と文化」
	14:45 ~ 16:45	講義「日本の経済」
1/10 (火)	9:45 ~ 11:45	講義「日本の政治・行政」
	13:15 ~ 14:30	日本語会話
	14:45 ~ 16:45	講義「日本の教育」
1/11 (水)	8:45 ~ 13:00	都内バス見学

## 11. 研修の評価

研修目的、目標の達成度合についての的確に把握するとともに、今後のコース運営の参考とするため、次のとおり評価会を実施します。

### (1) 中間評価会

消化済みの研修日程について、講義、実習の理解度及び成果の測定を行うための感想を求めるとともに、研修の進め方に関し意見交換を行います。

### (2) 最終評価会

JICA所定の質問書を提出させるとともに、研修到達目標の達成、並びにコース全体の成果について感想や提案を求めるための意見交換を行います。

最終評価会終了後閉講式において、各研修員に研修修了証書を授与します。

## 12. 日本語講習

希望する研修員には、日常会話程度の語学力修得を目的として、週1～2回程度（18:00～19:00位）の日本語講習を国際協力事業団北海道支部内会議室において実施します。

### 13. 平成6年度(第5回)応募, 選考結果

10カ国各1名の割当に対し, 8カ国から計15名(ブルガリア個別参加含む)の応募があり, 選考基準に基づき資格要件等を審査の結果, 下記の通り10名の受入を決定しました。

	国名	氏名	※PR=優先順位		EX=経験年数		選考結果
			生年月日 (年齢) 性別	PR	EX		
1	アルゼンティン ARGENTINA	Ms. Maria Judith PETERSCHMITT	DEC. 21. '63 (30) 女	1	6	○	
	National University of Buenos Aires, ARGENTINE / Physician (Pediatrics) Pediatric Intensive Care Unit Staff. "A. Posadas" National Hospital						
2	アルゼンティン ARGENTINA	Ms. Graciela MINETTI DE MINGUEZ	OCT. 26. '56 (38) 女	2	10	○	
	National University of Cordoba, ARGENTINE / M.D. (Pediatrics) Person in charge of Neonatal Screening, Provincial Maternity Hospital						
3	アルゼンティン ARGENTINA	Ms. Sonia MERA	OCT. 24. '64 (30) 女	3	4	×	
	National University of Buenos Aires, ARGENTINE / M.D. (Pediatrics) Neonatology Fellow. "Jose de San Martin" Clinical Hospital, National University of Buenos Aires						
4	アルゼンティン ARGENTINA	Ms. Maria Victoria COLICA	MAR. 03. '69 (25) 女	4	2	×	
	National University of Cordoba, ARGENTINE / M.D. Medical Genetic Assistant, Cordoba Provincial Maternity Hospital						
5	ブラジル BRAZIL	Mr. Marcelo Jose PANZENHAGEN	SEP. 14. '67 (27) 男	0	3	○	
	Federal University of Rio Grande do Sul, BRASIL Neonatologist, Conceicao Children's Hospital						
6	ブラジル BRAZIL	Ms. Silvana DARCIE	AUG. 10. '65 (29) 女	0	2	○	
	Medical School of University Foundation of ABC, BRASIL / M.D. // San Paulo Univ. Medical School / Pediatrician Staff Member, Neonatal Unit, Clinics Hospital of San Paulo University Medical School						
7	ブルガリア BULGARIA	MS. Veneta Dekova GAVRILOVA	APR. 23. '60 (34) 女	0	0	○	
	Medical 高等医学研究所・産婦人科						
8	ブルガリア BULGARIA	Ms. Maria Vassileva KALAJDIEVA	JLY. 29. '58 (36) 女	0	0	×	
	Medical Academy/Medicine 産婦人科大学病院・産婦人科						
9	ガーナ GHANA	Ms. Thelma Alfonso BROWA	JLY. 04. '50 (44) 女	0	11	×	
	Principal Medical Officer, Ministry of Health ※要請遅れ						
10	イラン IRAN	Mr. Mohsen NASERI	SEP. 13. '55 (39) 男	0	11	○	
	Shiraz University, IRAN / M.D. Professor, HAMADAN University of Medical Science (HUMS)						
11	フィリピン PHILIPPINES	Ms. Loreto G. MENDOZA	DEC. 29. '60 (33) 女	0	9	○	
	College of Health Science, University of Philippines / M.D., Master of Public Health Medical Specialist, Department of Health, Maternal and Child Health Service						
12	セネガル SENEGAL	Mr. Amadou KANE	JLY. 16. '53 (41) 男	1	10	○	
	Faculty of Medicine, SENEGAL / M.D. Chief of Pediatric Service, Thies Regional Hospital						
13	セネガル SENEGAL	Mr. Saliou DIOUF	MAR. 23. '57 (37) 男	2	8	×	
	Faculty of Medicine, SENEGAL / M.D. Assistant, Aristide le DANTEC Hospital						
14	タイ THAILAND	Mr. Chitpongse SUJJAPONGSE	MAY. 26. '60 (34) 男	0	10	○	
	Mahidol University, THAILAND / M.D. Pediatrician P.C.6, Saraburi Regional Hospital						
15	タイ THAILAND	Mr. Somporn CHOTINAREMOL	NOV. 09. '56 (38) 男	0	13	○	
	Chiang Mai University, THAILAND / M.D. // ルイジアナ州立大3年間留学(新生児学) Instructor in Pediatrics, Neonatal Division, Faculty of Medicine, Chiang Mai University						

## 研 修 員 名 簿

NAME OF PARTICIPANTS	DATE OF BIRTH	AGE	NATIONALITY	PRESENT OF POST
Ms. Maria Judith PERTERSCHMITT D-94-08237	1963.12.21	30	ARGENTINA	Pediatric Intensive Care Unit Staff, "A. Posadas" National Hospital
Ms. Graciela MINETTI DE MINGUEZ D-94-08240	1956.10.26	38	ARGENTINA	Person in charge of Neonatal Screening, Provincial Maternity Hospital
Mr. Marcelo Jose PANZENHAGEN D-94-08536	1967.09.14	27	BRAZIL	Neonatologist, Conceicao Children's Hospital
Mr. Silvana DARCIÉ D-94-08537	1965.08.10	29	BRAZIL	Staff Member, Neonatal Unit, Clinics Hospital of San Paulo University Medical School
Mr. Mohsen NASERI D-94-08197	1955.09.13	39	IRAN	Professor, HAMADAN University of Medical Science (HUMS)
Ms. Loreto G. MENDOZA D-94-08324	1960.12.29	33	PHILIPPINES	Medical Specialist, Department of Health, Maternal and Child Health Service
Mr. Amadou KANE D-94-08303	1953.07.16	41	SENEGAL	Chief of Pediatric Service, Thies Regional Hospital
Mr. Chitpongse SUJJAPONGSE D-94-08198	1960.05.26	34	THAILAND	Pediatrician P.C.G., Saraburi Regional Hospital
Mr. Somporn CHOTINARUEMOL D-94-08199	1956.11.09	38	THAILAND	Instructor in Pediatrics, Neonatal Division Faculty of Medicine, Chiang Mai University

## 研 修 日 程 表 ( 案 )

週	月/日	曜日	研 修 科 目 ( 9 : 30~12 : 00 )	研 修 科 目 ( 13 : 30~16 : 00 )
1	1/05	木	来日指定日	
	06	金	集合ブリーフィング (東京国際研修センター)	
	07	土	休日	
	08	日	休日	
2	09	月	一般オリエンテーション (東京国際研修センター)	
	10	火	一般オリエンテーション (東京国際研修センター)	
	11	水	一般オリエンテーション (東京国際研修センター)	
	12	木	研修員来札 (東京→札幌)	
	13	金	JICA北海道支部オリエンテーション	衛生研究所オリエンテーション
	14	土	休日	
	15	日	休日	
3	16	月	休日 (振替休日)	
	17	火	市長及び関係団体表敬訪問・開講式・昼食会	マス・スクリーニング概論 (成瀬)
	18	水	先天性代謝異常症 講義 (Levy H L)	討議 (成瀬・Levy)
	19	木	個別発表会準備	個別発表会・総合討議
	20	金	札幌市の母子保健対策 (西)	わが国の周産期医療 (藤本)
	21	土	休日	
	22	日	休日	
4	23	月	先天性代謝異常症 講義① (岡安) 講義② (楠) 講義③ (荒島)	
	24	火	先天性代謝異常症 実習① (鈴木)	先天性代謝異常症 実習② (鈴木)
	25	水	先天性代謝異常症 実習③ (鈴木)	先天性代謝異常症 実習④ (鈴木)
	26	木	先天性代謝異常症 実習⑤ (藤本)	先天性代謝異常症 実習⑥ (藤本)
	27	金	先天性代謝異常症 実習⑦ (藤本)	先天性代謝異常症 実習⑧ (藤本)
	28	土	休日	
	29	日	休日	
5	30	月	先天性代謝異常症 実習⑨ (山口)	先天性代謝異常症 実習⑩ (山口)
	31	火	先天性代謝異常症 実習⑪ (山口)	先天性代謝異常症 実習⑫ (山口)
	2/01	水	先天性代謝異常症 実習⑬ (山口)	先天性代謝異常症 実習⑭ (山口)
	02	木	先天性代謝異常症 レポート作成	先天性代謝異常症 総合討議
	03	金	札幌市中央保健所訪問	市立札幌病院NICU訪問
	04	土	休日	
6	06	月	クレチン症 講義① (原田)	クレチン症 実習① (扇谷, 三上)
	07	火	クレチン症 実習② (扇谷, 三上)	クレチン症 実習③ (扇谷, 三上)
	08	水	クレチン症 講義② (松浦)	クレチン症 実習④ (扇谷, 三上)
	09	木	クレチン症 実習⑤ (扇谷, 三上)	クレチン症 実習⑥ (扇谷, 三上)
	10	金	クレチン症 レポート作成	クレチン症 総合討議
	11	土	休日	
	12	日	休日	

週	月/日	曜日	研 修 科 目 (9:30~12:00)	研 修 科 目 (13:30~16:00)
7	2/13	月	先天性副腎過形成症 講義① (藤枝)	先天性副腎過形成症 講義② (野々村)
	14	火	先天性副腎過形成症 実習① (三上, 扇谷)	先天性副腎過形成症 実習② (三上, 扇谷)
	15	水	先天性副腎過形成症 実習③ (三上, 扇谷)	先天性副腎過形成症 実習④ (三上, 扇谷)
	16	木	先天性副腎過形成症 実習⑤ (三上, 扇谷)	先天性副腎過形成症 レポート作成・総合討議
	17	金	道外研修旅行出発	札幌 → 金沢 (金沢泊)
	18	土	金沢医科大学人類遺伝研究所	金沢 → 京都 (京都泊)
	19	日	休日	(京都泊)
8	20	月	京都府立医科大学小児科	島津製作所京都三条工場 (京都泊)
	21	火	大阪市環境保健協会, 大阪市立大学医学部小児科, 大阪市総合医療センター	(京都泊)
	22	水	移動 京都 → 東京	(東京泊)
	23	木	東京都予防医学協会	日本大学駿河台病院小児科 (東京泊)
	24	金	移動 東京 → 札幌	
	25	土	休日	
	26	日	休日	
9	27	月	神経芽細胞腫 講義① (西・内藤)	神経芽細胞腫 実習① (花井, 川崎)
	28	火	神経芽細胞腫 講義② (武田)	神経芽細胞腫 実習② (花井, 川崎)
	3/01	水	神経芽細胞腫 講義③ (飯塚)	神経芽細胞腫 実習③ (花井, 川崎)
	02	木	神経芽細胞腫 実習④ (花井, 川崎)	神経芽細胞腫 レポート作成・総合討議
	03	金	北海道立総合小児保健センター訪問	
	04	土	休日	
	05	日	休日	
10	06	月	特別実習Ⅰ①② 甲状腺刺激ホルモンの酵素免疫測定法 (中村, 福士)	
	07	火	特別実習Ⅰ③④ 甲状腺刺激ホルモンの酵素免疫測定法 (中村, 福士)	
	08	水	特別実習Ⅰ⑤⑥ 甲状腺刺激ホルモンの酵素免疫測定法 (中村, 福士)	
	09	木	特別実習Ⅰ⑦⑧ 甲状腺刺激ホルモンの酵素免疫測定法 (中村, 福士)	
	10	金	特別実習Ⅰ⑨⑩ 甲状腺刺激ホルモンの酵素免疫測定法 (中村, 福士)	
	11	土	休日	
	12	日	休日	
11	13	月	特別実習Ⅰ⑪⑫ 甲状腺刺激ホルモンの酵素免疫測定法 (中村, 福士)	
	14	火	特別実習Ⅰ レポート作成・総合討議	
	15	水	遺伝子診断法 講義 (崎坂)	特別実習Ⅱ① 遺伝子診断法 (山口, 三上)
	16	木	特別実習Ⅱ②③ 遺伝子診断法 (山口, 三上)	
	17	金	特別実習Ⅱ④ 遺伝子診断法 (山口, 三上)	特別実習Ⅱ レポート作成・総合討議
	18	土	休日	
	19	日	休日	
12	20	月	札幌「DL」苫小牧臨床検査センター訪問	
	21	火	休日(春分の日)	
	22	水	最終評価会準備	
	23	木	研修全般に係る総合討議	
	24	金	市長及び関係団体表敬訪問	最終評価会・閉講式・送別会
	25	土	離札 札幌 → 東京	
	26	日	帰国準備	
13	27	月	帰国指定日	
	28	火		

## 主要関係講師一覧表

(順不同, 敬称略)

氏名	勤務先	役職	講義・実習名
成瀬 浩	杏林大学医学部小児科	教授	スクリーニング概論
藤枝 憲二	北海道大学医学部小児科	助手	先天性副腎過形成症
野々村克也	北海道大学医学部泌尿器科	助教授	先天性副腎過形成症(外科的治療)
藤本征一郎	北海道大学医学部産婦人科	教授	周産期医療全般
松浦 信夫	北里大学医学部小児科	教授	先天性甲状腺機能低下症
原田 正平	北海道立衛生研究所	科長	先天性甲状腺機能低下症
荒島真一郎	北海道教育大学小児保健学	教授	先天性代謝異常症 (PKU, MSUD)
岡安多香子	北海道教育大学小児保健学	助手	先天性代謝異常症 (Gal, HCU)
楠 祐一	北海道療育園	医長	先天性代謝異常症 (有機酸)
武田 武夫	国立札幌病院臨床研究部	部長	神経芽細胞種 (診断, 治療)
内藤 春彦	国立札幌病院外科	医師	神経芽細胞種 (外科的治療)
飯塚 進	国立札幌病院小児科	医師	神経芽細胞種 (生物学的特性)
西 基	札幌医科大学公衆衛生学	助手	神経芽細胞種 (疫学), 母子保健 対策
脇坂 明美	北海道大学医学部第1病理	助教授	遺伝子診断概論
中村 健治	札幌IDL	課長	実習指導 (酸素免疫測定法)
菊地由生子	札幌市衛生研究所	所長	研修全般指導
佐藤 泰昌	札幌市衛生研究所	課長	研修全般指導
福士 勝	札幌市衛生研究所	係長	研修全般指導, 実習指導
花井 潤師	札幌市衛生研究所	職員	実習指導 (神経芽細胞腫)
山口 昭弘	札幌市衛生研究所	職員	実習指導 (代謝異常症)
扇谷 陽子	札幌市衛生研究所	職員	実習指導 (内分泌異常)
川崎 尚典	札幌市衛生研究所	職員	実習指導 (神経芽細胞腫)
三上 篤	札幌市衛生研究所	職員	実習指導 (内分泌異常)



## 年度別受入実績表

### 1. 応募/選定(受入)人数

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	累 計
応 募 数	5名	10名	11名	14名	15名	名	名	55名
受 入 数	5名	9名	6名	8名	10名	名	名	38名

### 2. 研修員の派遣国

○男性 ●女性

国 名	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	累 計
(ア ジ ア 地 域)								
ネ パ ー ル		○						1
大 韓 民 国			●					1
タ イ			○	●	○○			4
マ レ ー シ ア		○●		●				3
フ ィ リ ピ ン				●	●			2
(中 近 東 地 域)								
イ ラ ン		○		○	○			3
エ ジ プ ト		○●						2
サウディ・アラビア				○				1
パキスタン				○				1
(アフリカ地域)								
ケ ニ ア			●					1
セ ネ ガ ル					○			1
(中南米地域)								
アルゼンティン	●		●		●●			4
ブラジル		●(2)	○		○●			5
ウルグァイ		○						1
チ リ	●(2)							2
メ キ シ コ	○●			●				3
ベ ル ー			●					1
コ ロ ン ビ ア				●				1
(その他の地域)								
ブルガリア					●			1
合 計	3ヶ国 5名	6ヶ国 9名	6ヶ国 6名	8ヶ国 8名	7ヶ国 10名	ヶ国 名	国 名	19ヶ国 38名

1950年11月11日

11月11日